

2021年度 大学院経済学研究科進学相談会

経済学研究科を知ろう

経済学研究科長 宮崎憲治

経済学を志す皆さんへ

例年は対面での進学相談会を行っているのですが、このような状況下で、**スライドでの紹介**とさせていただきます。

直接お会いできないのが本当に残念ですが・・・

逆にいえば、**遠く離れた方にも、法政大学経済学研究科を知っていただく機会**とも考えました。

大学院では、厳しい数年間を過ごすことになります。

が、同時に、**修了したときには、得がたい経験**となるでしょう。

皆さんの**人生の「よりよい選択」**に、この進学相談会のスライドがお役に立てれば幸いです。

目次

1. 法政大学経済学研究科の特徴
2. 修士(M.A.)プログラム
3. 博士5年(Ph.D.)プログラム
4. プログラム変更, および, M.A.プログラム修了・
博士後期課程進学の可能性
5. 大学院の各種助成制度
6. 入学の準備に: 科目等履修生, 研修生
7. 学部内進学

1. 法政大学経済学研究科の特徴

- (1) 高度職業人を目指す人も/研究者を目指す人も
- (2) 本格的な研究の土台となるQE
- (3) 社会人も学びやすい環境
- (4) 留学生も学びやすい環境
- (5) 充実した研究指導体制
- (6) 初年次教育
- (7) 短期での修了を目指す人に

特徴(1) 高度職業人を目指す人も/研究者を目指す人も

- 高度職業人を目指す人 → 修士(M.A.)プログラム: 2年制. 修士論文を作成し修了.
- 研究者を目指す人 → 博士5年(Ph.D.)プログラム: 5年制. 修士論文に替えて「博士論文研究基礎力審査(QE)」により修士号取得後, 博士論文執筆.
- すでに他大学院で修士号を取得し研究者を目指す人 → 博士後期課程: 3年制, Ph.D.プログラムの3~5年次に相当.

特徴(2) 本格的な研究の土台となるQE

- **QE(博士論文研究基礎力審査)**: 博士5年(Ph.D.)プログラムで, 最初の2年にクリアすべき審査.
 - i. 専攻分野と幅広い関連分野の専門的知識・能力を**筆記試験**で評価した上で,
 - ii 博士論文研究を行う分野に係る研究の背景や意義, 展望に関する認識や, 課題を設定し研究を推進する能力等を**研究報告・口頭試問**で評価.
- QE合格後, 博士後期課程進学, 博士論文執筆.
- **世界標準のプログラムを先駆けて導入.**

特徴(3) 社会人も学びやすい環境

- **主に市ヶ谷での開講**: 学部は多摩, しかし, 現在大学院のほとんどの科目は市ヶ谷で開講.
- **昼夜開講制**: 多くの科目は6,7時限または土曜日に開講.

※詳細は当該年度の時間割やシラバスをご確認ください

特徴(4) 留学生も学びやすい環境

- **研究科独自の日本語科目**: レポート作成, 発表, 論文執筆の演習.
- **チューター制度**: 上級生による研究・学習サポート.

特徴(5) 充実した研究指導体制

- **一年次からの少人数研究指導**
- **ワークショップ**: 合同の研究報告・討論の場. 年2回開催. 学会報告, 専門誌投稿, 修士/博士論文執筆のステップとなる.

特徴(6) 初年次教育

- **導入科目群**: 経済学部以外を卒業した人, しばらく経済から離れていた人向けへの基礎的な知識の取得を目的とした科目群の設置.

特徴(7) 短期での修了を目指す人に

- 修士課程1年制コース:
 - すでに学部等である程度の科目を先取り履修してきた学生や、シンクタンク等ですでに経済学の研究に携わっている者が対象.
 - 修士課程の2年間の内容を1年間で修得. (Ph.D.プログラムの場合は博士後期課程と併せて4年で修了可.)
 - 出願時に申請が必要.

2. 修士(M.A.)プログラム:設置科目

導入科目群(リカレント科目)

経済学基礎 実証経済学基礎

基本科目群(QE筆記科目にも相当)

ミクロ経済学 マクロ経済学 計量経済学
社会経済学 経済史

専門科目群

5つの専攻分野

2. 修士(M.A.)プログラム:

専門科目群と担当教員(1):歴史・思想・制度

開講科目

共通	応用ミクロ経済学 応用マクロ経済学 統計学
専攻	日本経済論 ジェンダー経済論 法と経済学 経済学史
隣接	金融ファイナンス論 財政学 開発経済論 地域経済論 I 地域経済論 II

担当教員(予定)

後藤浩子, 進藤理香子, 菅富美枝, 杉浦未樹,
長原豊, 平瀬友樹

2. 修士(M.A.)プログラム: 専門科目群と担当教員(2): 金融・企業

開講科目

共通	応用ミクロ経済学 応用マクロ経済学 統計学
専攻	金融経済学 金融ファイナンス論 実証ファイナンス 企業経済学 経済と会計
隣接	国際金融論

担当教員(予定)

梅津亮子, 岸牧人, 胥鵬, 高橋秀朋, 竹口圭輔, 武田浩一,
田中優希, Jess Diamond, 湯前祥二

2. 修士(M.A.)プログラム: 専門科目群と担当教員(3): 政策・環境

開講科目

共通	応用ミクロ経済学 応用マクロ経済学 統計学
専攻	環境経済論 環境政策論 経済政策 財政学 公共経済学 社会保障論 都市経済政策論
隣接	経済地理学 労働経済学

担当教員(予定)

小黒一正, 小林克也, 酒井正, 篠原隆介, 菅原琢磨,
 砂田充, 西澤栄一郎, 濱秋純哉, 廣川みどり, 松波淳也

2. 修士(M.A.)プログラム:

専門科目群と担当教員(4): 国際・地域

開講科目

共通	応用ミクロ経済学 応用マクロ経済学 統計学
専攻	国際貿易論 国際金融論 開発経済論 経済地理学 地域経済論 I 地域経済論 II
隣接	日本経済論

担当教員(予定)

池上宗信, 近藤章夫, 武智一貴, 田村晶子,

倪彬, 馬場敏幸, 朴倞玄, ブー トウン カイ, 馬欣欣

2. 修士(M.A.)プログラム:

専門科目群と担当教員(5): 応用ミクロ・応用マクロ・計量

開講科目

共通	応用ミクロ経済学 応用マクロ経済学 統計学
専攻	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 応用計量経済学 労働経済学
隣接	日本経済論 法と経済学 企業経済学 経済と会計 公共経済学

担当教員(予定)

奥山利幸, 小沢和浩, 河村真, 佐柄信純, 菅幹雄, 鈴木豊,
 平井俊行, 宮崎憲治, 宮脇典彦, 明城聡, 森田裕史, 阿部俊弘
 八木橋毅司

2. 修士(M.A.)プログラム: 修了要件

- 2年以上在籍 + 履修要件充足 + 修士論文提出 + 口述試験合格 → 修士号授与
- 修士論文をリサーチペーパーに代替可能. ただし, その場合34単位以上の取得が必要.
- 1年制コースは入試時に決定

〈修士(M.A.)プログラム 履修要件〉

導入科目群, 基本科目群	12単位以上
「経済学演習 I A/B」「経済学演習 II A/B」 (修士ワークショップ2回発表)	4単位以上
専門科目群	4単位以上
合計	30単位以上

2. 修士(M.A.)プログラム:履修フロー

M1(修士1年)
「導入科目群」や「基本科目群」から履修
+ 経済学演習 I A/B

M2(修士2年)
研究テーマ・目標に併せて「基本科目群」や
「専門科目群」から履修+ 経済学演習 II A/B

修士論文口述試験

修士ワークショップにて修士論文
中間発表

3. 博士5年(Ph.D.)プログラム

- 「修士課程2年 + 博士後期課程3年」の合計5年一貫のプログラム(修士1年/博士後期3年コースは入試時に決定.)
- 履修要件(修士課程分)充足+「博士論文研究基礎力審査(QE)」合格 → 博士後期課程に進学, 博士論文を執筆.
- 博士後期課程進学許可と同時に修士号授与.

〈博士5年(Ph.D.)プログラム 履修要件〉

導入科目群, 基本科目群(QE筆記試験コースワーク含む)	12単位以上
「経済学演習 I A/B」「経済学演習 II A/B」 (修士ワークショップ2回発表)	4単位以上
専門科目群「専攻分野コースワーク」	12単位以上
修士課程合計	30単位以上
博士後期課程	
「経済学演習 III ~ V A/B」, 専門科目群 合計 (博士ワークショップ3回発表)	16単位以上

3. 博士5年(Ph.D.)プログラム:履修フロー ①

M1(修士1年)

QE筆記試験コースワークから履修+経済学演習 I A/B

博士論文研究基礎力審査(QE)筆記試験

M2(修士2年)

専攻分野コースワークから履修+経済学演習 II A/B

専攻分野コースワーク1分野
6科目12単位GPA2.7以上、
研究計画書の提出。
QE筆記試験2科目合格判定。

修士ワークショップ
にて「研究計画書」
中間発表

博士論文研究基礎力審査(QE)口述試験

3. 博士5年(Ph.D.)プログラム:履修フロー② (博士後期課程も同じ)

博士後期課程1年～3年
経済学演習, 専門科目群

「博士ワークショップ」にて
博士論文の中間報告発表

博士論文口述試験

- **履修要件**: 経済学演習 Ⅲ～Ⅴ A/B(各2単位)から8単位以上, 専門科目群4単位以上, 合計16単位以上の修得が必要.
- **博士ワークショップ**: 修了までに3回以上発表. オーバードクター(博士後期4年目以降)でも, 毎年の報告が望ましい. なお, 聴講のみで報告を行わない場合, 要件を満たしません.

4. プログラム変更, および, M.A.プログラム修了・ 博士後期課程進学の可能性

- ◆ M.A.プログラムで入学後, **もっと勉強してみたい**, また逆に, Ph.D.プログラムで入学後, **さまざまな事情で2年で修了としたい**, という人に

⇒ **プログラム変更(転プログラム)の期間**が設けられています.

新入生へのオリエンテーションでの研究科長の説明後, プログラム変更申請が可能です. 年度の最中で自分の方向性が変わった人は, 2月末にプログラム変更申請が可能です. ただし, 指導教員とよく相談して下さい.

- ◆ **M.A.プログラムを修了し, 博士後期課程に進む可能性について**

⇒ **可能ですが, 「博士後期課程」入学試験の受験・合格が必要**です. なお, 筆記試験の出題レベルはQEと同レベルです. ほかに語学について受験(またはスコア)が必要になります.

5. 大学院の各種助成制度 (1)

奨学金・補助金

- ◆ 修士課程在籍者のための奨学金(100周年記念大学院修士課程奨学金)
- ◆ 博士後期課程在籍者のための奨学金(博士後期課程研究助成金)
- ◆ 留学のための補助金(海外留学補助金)
- ◆ 研究のための補助金(学生論文掲載料補助金, 学会等発表補助金, 諸外国語による論文等校閲補助, 現地調査実施費用補助, 優秀博士論文出版助成金)

留学生対応

- ◆ 大学院生チューター制度, チューター日本語相談室

5. 大学院の各種助成制度 (2)

その他

- ◆ 大学院紀要の発行, 研究開発センターによる支援
- ◆ 教育訓練給付制度(一般教育訓練給付): 経済学研究科修士課程は「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座(一般教育訓練給付)」の指定を受けています.
- ◆ 家計急変時の各種制度(学費の延納制度)
- ◆ その他, もちろん, 学外の奨学金も利用可能です.

以下の HP を参照して下さい. 受給者モデルも掲載しています:

<https://www.hosei.ac.jp/gs/gakuhi/>

6. 入学の準備に: 科目等履修生, 研修生

大学院に興味があるけれど, いきなり入学は・・・という人へ:

- ◆ 特定の数科目だけ履修してみたい ⇒ **科目等履修生制度**
一定の条件のもとで大学院授業の履修を科目毎に認める制度です.

https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/tokubetsu_yoko/kamoku_rishu/

- ◆ 1年間準備期間の形で在籍したい ⇒ **研修生制度**
修士入試とは別立ての入試により, 在籍・科目履修が認められます.

https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/tokubetsu_yoko/kensyusei/

いずれの制度のもとで履修した単位も, 大学院に入学した場合には, 教授会の議を経た上で, 正規の単位として認定されます. なお, 認定単位数の上限は, 単位認定申請時にご確認ください.

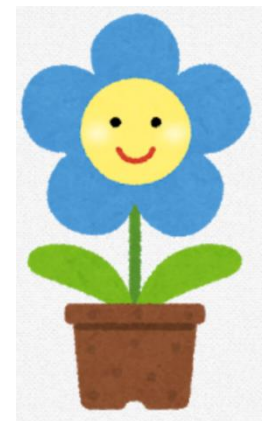
7. 学部内進学

法政大学経済学部生は一定の条件を満たすと(筆記試験免除, 口述試験審査の上)大学院進学できます.

https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/gakunai_yoko/

学部生は, 大学院科目の先取り履修も可能です. また, 学部のゼミのときから一貫して同一の教員から指導を受けることで, より研究を深化させることができるでしょう.

学部を3年で早期卒業し, 大学院に進むことも可能です.



最後に:このような状況だからこそ

今回の新型コロナウイルスの影響で、わたしたちの生活は大きく変わりました。

社会の構造も大きく変化しています。が、逆に言えば、社会を見つめ直すよい機会であるとも考えられるでしょう。

このような状況だからこそ、深い洞察を行いたい。そのひとつの選択肢として、当研究科を考えていただければ幸甚です。

またお会いできることを心より楽しみにしております！

なお、入学試験については、要項のほか、ホームページにて最新情報をご確認ください。